

**実行委員会企画**  
「ミュージキング—原点からの音楽教育—」

ご挨拶 (6-101) 8日(土) 13:30~13:45

日本音楽教育学会会長 小川 容子  
横浜国立大学教育人間科学部長 杉山 久仁子  
第47回大会実行委員長 小川 昌文

記念演奏Ⅰ (6-101) 8日(土) 13:45~14:00

望月 太左衛 社中

基調講演 (6-101) 8日(土) 14:00~15:15

Music Matters: 音楽の原点からの音楽教育(仮題)

ニューヨーク大学教授 David J. Elliott・(通訳) 小川 昌文

記念演奏Ⅱ (6-101) 8日(土) 15:30~15:45

川端りさ リコーダーコンサート

シンポジウム (6-101) 8日(土) 15:45~17:15

音楽と音楽教育の原点から音楽科の意義を再考する

司会: 奈良教育大学名誉教授 安田 寛  
シンポジスト: 広島市立大学名誉教授 塚田 健一  
横浜国立大学 有元 典文  
横浜国立大学 小川 昌文

アウトリーチプログラム(教育文化ホール大集会室) 9日(日) 13:30~16:30

ミュージキング~グローバルな視点から音楽を学ぼう~日本伝統音楽と世界の音楽を融合する~

第1部 ミニコンサート:

横浜インターナショナルスクール箏アンサンブル

佐倉ジュニア合唱団・戸谷 登貴子(指揮)

望月太左衛社中(囃子)

第2部 講演: ミュージキングとは何か?

モンテクレア州立大学 Marissa Silverman

第3部 ミュージキングを体験しよう♪~邦楽アンサンブル・合唱・ダンスの音楽セッション~

**常任理事会企画**

プロジェクト研究Ⅰ (6-201) 9日(日) 13:30~15:00

学会から社会への発信(第2年次)

—『音楽教育実践ジャーナル』から学校への発信—

1 報告

1) 『音楽教育実践ジャーナル』にみる実践研究

東京純真大学 田中 路

2) 会員へのアンケートにみるこれまでの発信

東京成徳大学 田邊 裕子

2 座談会 私の提案 『音楽教育実践ジャーナル』から学校に発信するために

・音楽科教論の立場から

東京学芸大学附属世田谷小学校 齊藤 豊

・出版の立場から

元『教育音楽』編集長・音楽之友社 岸田 雅子

・学会誌の立場から

編集委員会委員長・立教大学 有本 真紀

司会: 東京音楽大学 加藤 富美子

プロジェクト研究Ⅱ (6-102) 8日(土) 15:30~17:00

若手研究者が考える音楽教育学の hereafter

—音楽教育学の学際性と専門性—

パネリスト(代表): 比治山大学 長谷川 諒

パネリスト: 八戸学院短期大学 木下 和彦

パネリスト: 弘前大学院生 前田 一明

企画・司会: 弘前大学 今田 匡彦

## 研究発表

### 研究発表A (7-101) 8日(土) 9:30~12:30

- A-1 音楽科教育における二項対立的問題についての考察……………  
 —音楽の起源と音楽の認知についての科学的研究から—  
東京学芸大学大学院生 一條昌子
- 2 小学校音楽科への知識構成型ジグソー法の導入……………  
 —鑑賞の活動における実践研究—  
長崎大学大学院生・長崎大学教育学部附属小学校 山口亮介
- 3 日本語の音声表現を基盤とした声による音楽教育……………  
 —音楽的成長と人間的成長の軌跡と根拠—  
上野学園大学 山内雅子
- 4 教員養成におけるピアノ伴奏の可能性……………  
 —歌唱共通教材「うみ」を通して—  
東海学院大学 紙屋信義
- 5 アクティブ・ラーニングによる身体表現活動の試み……………  
 —初等音楽科指導法を視点として—  
上越教育大学 時得紀子  
 兵庫教育大学大学院生 飯村諭吉  
 上越教育大学大学院生 大場拓哉
- 6 米国の音楽に関連する創造性テストの特質……………  
 —テスト問題の検討を中心に—  
宮崎大学 酒井勇也

### 研究発表B (7-103) 8日(土) 9:30~12:30

- B-1 ドイツの小学校における器楽学習プロジェクト……………  
 —音楽学習の枠組みと特徴—  
広島大学 伊藤真
- 2 岐阜県下羽栗小学校における「ふしづくりをとりいれた音楽教育」……………  
 —ひとりだちのできる学習指導をめざして—  
広島大学 三村真弓  
 広島大学名誉教授 吉富功修
- 3 「ふしづくりの教育」の授業研究……………  
 —第2学年・田中千鶴教諭の授業を対象として—  
広島大学名誉教授 吉富功修  
 広島大学 三村真弓  
 広島大学 伊藤真
- 4 絵譜の有用性について考える(2)……………  
 —絵譜を用いた幼児への楽器指導・歌唱指導実践から—  
湊川短期大学 白井奈緒
- 5 音楽科教育におけるダンス学習の意味・意義を探る……………  
 —フランスの小学校体育科プログラムに見る「ダンスと聴取」の考察から—  
秋田大学 吉澤恭子
- 6 変声期男子が快適に歌える合唱指導法と教材開発に関する研究(2)……………  
 —カンビアータ・コンセプトの方法論を適用したパート分け及び声域変化の検証—  
山口大学 高橋雅子

研究発表C (7-104) 8日(土) 9:30~12:30

- C-1 子どもの歌におけることばとリズム……………  
—拍子に着目して—  
東京福祉大学短期大学部 二宮紀子
- 2 プラグマティックな音楽科カリキュラムの可能性……………  
—音楽—政治の関係をめぐって—  
ブリティッシュ・コロンビア大学大学院生 野澤基
- 3 小学校6年間を通じた日本音楽の学習……………  
—子どもが主体的に関わって学びを深めるカリキュラムの試み—  
江戸川大学 猶原和子
- 4 小中大連携による音楽授業の現状と課題……………  
—2015(平成27)年度研究発表大会に着目して—  
鳥取大学 鈴木慎一郎  
鳥取大学附属小学校 大野桂  
鳥取大学附属中学校 廣富恵美子
- 5 二人で声が合うという状態を視る……………  
—音源探査装置を用いての声の可視化(2)—  
信州大学 齊藤忠彦  
信州大学 田島達也
- 6 韓国・朝鮮の民俗芸能による在日コリアンのアイデンティティ形成……………  
—大阪市立御幸森小学校の民族学級の実践を通して—  
埼玉大学 磯田三津子

研究発表D (7-202) 8日(土) 9:30~12:00

- D-1 音楽を音以外の媒体で「語る」ということ……………  
—音楽を図形で表す活動からの考察—  
植草学園大学 高木夏奈子
- 2 和田実の「音楽的遊戯」構築の変遷……………  
広島大学大学院生 戸江真以
- 3 音楽教育における身体感性論の研究……………  
—リチャード・シュスターマンの思想に着目して—  
広島大学大学院生 高尾美輝
- 4 熊本県における昭和20年代の合唱指導……………  
—合唱指導者としての岩津範和—  
愛知教育大学 国府華子
- 5 文化としての音楽の学習に関する一考察……………  
—H.アントホルツの教授学理論の検討を中心に—  
東京家政学院大学 山原麻紀子

研究発表E (7-210) 8日(土) 9:30~12:30

- E-1 「弦楽器演奏」におけるアンサンブル学習の試み……………  
—2年間の授業実践の成果に基づいて—  
埼玉大学 伊藤 誠
- 2 季節の移り変わりをテーマとした音楽創造の試み……………  
—肌で感じる季節, 季節感から音楽表現へ—  
岐阜聖徳学園大学 加藤 晴子  
岡山大学 加藤 内蔵進
- 3 教職課程における「ピアノ伴奏力」形成に関する研究……………  
—「伴奏法」授業からの考察—  
尚美学園大学 宮本 憲二
- 4 シニアのピアノ学習における指番号によるつまずきについて……………  
—成人用ピアノ教則本との関連から—  
京都ノートルダム女子大学 古庵 晶子
- 5 チェルニー練習曲集を用いた音楽表現技術の習得……………  
—『ピアノフォルテ教本 op.500』から見るチェルニー練習曲集—  
東京音楽大学大学院生 佐藤 容子
- 6 コロンビア大学MPプログラムについて……………  
—日本伝統音楽の海外普及の一事例として—  
洗足学園音楽大学 山本 華子

研究発表F (7-211) 8日(土) 9:30~12:00

- F-1 教師としての力量形成に関する研究……………  
—音楽科教師における情動の表出過程の検討—  
誠英高等学校 奈子原 美佳  
山口大学 高橋 雅子
- 2 子どもへの対応の意識改善とそのスキル向上についての一考察……………  
—通級学級の教員の場合—  
東京純心大学 平田 千秋
- 3 中国の社会芸術グレード試験の役割……………  
—中国の古箏を事例として—  
東京音楽大学大学院生 亢 若桐
- 4 音楽大学生の調性音楽の捉え方……………  
—音名と階名の理解から考える—  
クローバーピアノ教室・メロディー音楽教室 齋藤 朝子
- 5 逆腹式・スクープ呼吸法による発声とその検証……………  
帝塚山大学 村尾 忠廣  
帝塚山大学 宮田 知絵

研究発表G (7-308) 8日(土) 9:30~12:30

- G-1 パソコン, スマートフォンにおける音楽アプリケーションの現状……………  
相愛大学 橋田光代
- 2 科学的アプローチによる金管楽器奏者の計測……………  
—ホルン演奏時のマウスピースを唇に押さえつける力—  
桜美林大学 平野 剛  
大阪青山大学 木下 博
- 3 アパジ・マーリアの指導法で育ったリトル・ピアニスト……………  
—ハンガリー『ピアノの夢—創造的なピアノ学習』から学んで—  
宮城教育大学名誉教授 降矢 美彌子
- 4 リトミカル(リトミック×ミュージカル)の活動報告……………  
—一般社団法人STUDIO MOC 大澤 愛  
東京学芸大学こども未来研究所 小田 直弥
- 5 邦楽を通じた日本とブラジルとのコネクション……………  
—ブラジルにおける尺八の普及の様相を通して—  
東京音楽大学大学院生 瀧上ラファエル広志
- 6 ピアノ演奏時における演奏のエラー後の視線移動……………  
—初見視奏と練習後の完成時演奏の比較検討—  
兵庫教育大学大学院生 小林 佳子

研究発表H (7-309) 8日(土) 9:30~12:30

- H-1 特別支援学級における合奏指導……………  
—特性に応じた指導法を中心に—  
早稲田大学大学院生 池田 康子
- 2 「こども音楽療育士」育成への取り組みについて……………  
—障がいをもつ幼児によりそった音遊びの視点から—  
西南女学院大学短期大学部 末成 妙子
- 3 世紀転換期の英国の幼稚園における芸術教育に関する研究……………  
—フレール協会の機関誌 Child Life に着目して—  
広島大学大学院生 高橋 梢
- 4 保育園児の音楽的表現の動作解析による比較分析……………  
—モンテッソーリ・メソッドの保育形態を中心に—  
大阪樟蔭女子大学 佐野 美奈
- 5 モンテッソーリ・メソッドにおける幼小連携の音楽カリキュラム……………  
—J.K. Miller の歌唱活動に着目して—  
エリザベト音楽大学 藤尾 かの子
- 6 音と子どもの多次元的なかわりを導く実践……………  
—幼児を対象とした音楽教室の指導者インタビューを俯瞰して—  
駒沢女子大学・ヤマハ音楽振興会 丸山 慎  
ヤマハ音楽振興会 森内 秀夫

研究発表 I (7-101) 9日(日) 9:00~12:30

- I-1 印象派以降の音楽から考える鑑賞教育の可能性……………  
—マラルメとドビュッシーの考察を中心として—  
弘前大学大学院生 小原光織
- 2 音楽科における音環境教育の意義と在り方……………  
—サウンド・エデュケーションに基づいた系統的な学習—  
東京学芸大学大学院生 池田枝里奈
- 3 小学校音楽科における国内の多様な民族との共存を志向する授業実践研究……………  
—地域のタイ人と共存する「当事者意識」の育成をめざして—  
東京学芸大学大学院生 神野由布樹
- 4 形式的学習から音楽的自立を目指す学習過程の分析……………  
—海馬と扁桃体に注目した音楽学習の方向性を求めて—  
滋賀県大津市立打出中学校 星田茂之
- 5 我が国の伝統音楽の授業構築における現状と課題……………  
—教員の学びと授業実践の関連性に着目して—  
広島大学大学院生 大井 絃
- 6 模倣としての教材解釈……………  
千葉経済大学 小池 順子
- 7 謡の学習プログラムにおける教育効果の検証……………  
—児童の歌声の分析とアンケート調査を中心に—  
東京福祉大学 田村 にしき

研究発表 J (7-103) 9日(日) 9:00~12:30

- J-1 中学校音楽科におけるリコーダー教育の歴史と意義……………  
—中学校器楽の教科書の分析を通して—  
東京学芸大学大学院生 原田 瑛莉子
- 2 教師の音楽指導観に関するアンケート調査……………  
福山市立大学 古山 典子  
熊本大学 瀧川 淳
- 3 定時制高校における音楽教育の意義……………  
音楽教室主宰 荒木 美香
- 4 「AKB48は、いくらもらっているのか」知的財産権の授業実践……………  
—社会に結びつく中学校音楽科の授業—  
東京学芸大学附属世田谷中学校 原 口 直
- 5 音楽鑑賞教室の取組みに関する一考察……………  
—浜松市における「となりのオーケストラ」からの示唆—  
鹿児島大学 今 由佳里
- 6 音楽科における小中連携に関する研究……………  
—広島県府中市と新潟大学教育学部附属長岡校園を中心に—  
広島大学大学院生 今 福 奈 美
- 7 音楽授業のユニバーサルデザイン……………  
—授業改善とカリキュラム改善—2つの視点から考える—  
明星大学 阪 井 恵

研究発表 K (7-104) 9日(日) 9:00~12:30

- K-1 地域に受け継がれてきたリズムを土台とした音楽創作……………  
—モザンビークのムジカ・リジェイラを事例に—  
沖縄県立芸術大学 古 謝 麻耶子
- 2 国立総合児童センターこどもの城における音楽プログラム……………  
皇學館大学 高 橋 摩衣子
- 3 和楽器を歌おう……………  
—オノマトペによる唱歌を使った能の笛, 邦楽囃子の小鼓, 尺八の教材化—  
岡山大学 山 本 宏 子
- 4 スウェーデンの公認学習協会センススによる音楽文化促進プロジェクト……………  
—マニフェストツアーに着目して—  
広島大学大学院生 松 本 進乃助
- 5 コミュニケーション能力の習得に着目したガムラン指導法の考案……………  
—音楽的基礎能力の検証を通して—  
東京音楽大学大学院生 増 田 久 未
- 6 宝塚歌劇における芸術的価値認識の変容について……………  
—音楽教育の視座から—  
弘前大学大学院生 中 村 静 香
- 7 イギリス初等教育 KS1 (5-7歳)における他教科のなかの音楽……………  
—Cross-curriculum(クロスカリキュラム)と教科のアンビバレンス—  
東北福祉大学 鈴 木 敦 子

研究発表 L (7-202) 9日(日) 9:00~12:00

- L-1 西洋に伝えられた小学唱歌……………  
—ルドルフ・ランゲの『日本の小学唱歌』(1900年)を中心に—  
名古屋大学大学院生 釘 宮 貴 子
- 2 戦後音楽科成立期における音楽教育思潮についての考察……………  
東京学芸大学大学院生 小 関 崇 司
- 3 「こと」としての音楽の存在意義……………  
—時間軸上における自己と音楽の関係性から—  
東京学芸大学大学院生 清 水 稔
- 4 音楽教育哲学における「社会正義」論の地平……………  
—ポストコロニアル批評, 脱構築, リベラリズムに基づく議論の諸相—  
福島大学 杉 田 政 夫
- 5 バシュラールの芸術論……………  
—音楽教育への応用可能性について—  
弘前大学学部生 竹 尾 宗 馬
- 6 雑誌『音楽界』に見る明治・大正期の音楽教育の実態に関する研究……………  
—唱歌教育を中心に—  
広島大学大学院教育学研究科 川 端 佑 始

研究発表M (7-210) 9日(日) 9:00~12:30

- M-1 保育者養成校における幼児番組制作の実践……………  
—アクティブラーニングの教育的効果—  
鶴川女子短期大学 高 畠 扶 貴
- 2 音楽自習教材におけるタブレット端末 (ICT) の活用……………  
—紙媒体と ICT の比較実験から—  
電気通信大学・ヤマハ音楽振興会 小 幡 哲 史  
ヤマハ音楽振興会 小 川 純 一
- 3 音楽アウトリーチの発展と課題について……………  
—音楽家養成および外部団体との協働の視点から—  
エリザベト音楽大学 壬 生 千 恵 子
- 4 ライフヒストリーから捉える音楽体験の転移効果における特徴……………  
—ビジネススクールの音楽同好会メンバーの語りを通じて—  
東京藝術大学大学院生 船 越 理 恵
- 5 学校教育における和の音楽文化伝承に関する一考察……………  
奈良学園大学 瀧 明 知 恵 子
- 6 演奏の場におけるあがり症の原因とその対処法に関する一研究……………  
—自律訓練法, NLP, メンタルトレーニング等の観点から—  
マーティン・ルター大学ハレ・ヴェッテンベルク大学院生 大 木 美 穂
- 7 養成校における日本伝統音楽のとりあつかい……………  
—その意義と課題—  
愛知学泉大学 澁 谷 由 美  
愛知学泉大学 山 田 佳 穂

研究発表N (7-211) 9日(日) 9:00~12:30

- N-1 演奏不安における心理的サポートの検討……………  
—教師・親・友人の影響に着目した質問紙調査—  
産業技術総合研究所 吉 江 路 子  
東京学芸大学 森 尻 有 貴
- 2 音声の可視化の試み……………  
—西洋声楽と長唄それぞれのうた声の比較を通して—  
東京芸術大学 鹿 倉 由 衣・東京芸術大学 市 川 恵  
立教女学院大学 小佐川 心 子・同志社大学赤ちゃん学研究センター 志 村 洋 子  
聖心女子大学 今 川 恭 子
- 3 J.L.Mursell の考える「成長」の本質……………  
—1947年以降の著作物に着目して—  
広島大学大学院生 森 川 友 恵
- 4 幼児の調性感・ハーモニー感獲得にみる音楽的文化化……………  
同朋大学 水 野 伸 子
- 5 視聴覚メディアにおける音楽の効果 (1) ……………  
—テレビ CM 音楽を題材として—  
兵庫教育大学大学院生 高 橋 潤 子
- 6 演奏不安のライフヒストリー研究……………  
—プロオーケストラ奏者へのインタビュー調査を通して—  
岡山大学大学院生 壽 谷 静 香
- 7 アフォーダンス理論がもたらす音楽教育の「知の転回」……………  
—J.J.ギブソンの生態心理学の実践への応用で見えてきたこと—  
新潟市立浜浦小学校 内 海 昭 彦

研究発表O (7-308) 9日(日) 9:00~12:00

- O-1 19世紀アメリカのボストンの公立学校における唱歌教育の成立と展開……………  
—L. メーソンの動向を中心に—  
鳴門教育大学 長 島 真 人
- 2 宮澤賢治による農民芸術の実践……………  
—音楽に関する活動とその意義を中心に—  
東京音楽大学大学院修了 田 村 江莉香
- 3 札幌の黎明期における音楽文化活動の研究……………  
—札幌農学校と北星女学校を中心に—  
東京音楽大学大学院修了 矢 嶋 未 来
- 4 戦後日本における「子どもの歌」の教育的意義について……………  
—1950年代の脱「童謡」から1960年代の情操教育としての歌へ—  
大阪大学大学院生 山 本 耕 平
- 5 子ども向け演奏会の誕生と発展……………  
—イギリスの Sir Robert Mayer 演奏会に着目して—  
日本児童教育専門学校 水 引 貴 子
- 6 戦後改革期の岐阜県多治見市立養正小学校における器楽合奏団の活動とその歴史的意義……………  
神戸大学大学院生・日本学術振興会特別研究員 樫 下 達 也

研究発表P (7-309) 9日(日) 9:00~12:00

- P-1 幼児の表現遊びに見られる楽曲の認識過程……………  
—動物の謝肉祭：カンガルー(サンサーンス作曲)の曲に合わせて動こう—  
東京福祉大学 下 出 美智子  
東京福祉大学 岡 村 弘  
元東京福祉大学大学院生 馬 晨 鍼
- 2 音楽胎教をした未就園児の発達と母親の音楽的関わり……………  
—母親へのアンケートと KIDS 乳幼児発達スケールの結果から—  
東京福祉大学 岡 村 弘  
東京福祉大学短期大学部 本 野 洋 子  
東京福祉大学短期大学部 高 木 麻衣子
- 3 歌唱活動における幼稚園児の歌声に関する微視的研究……………  
—歌声が変化した状況に着目して—  
東京学芸大学 水 崎 誠
- 4 即興の歌作りに見る幼児の表現……………  
—5歳児に見る表現遊び—  
M・EMOTION 日 笠 みどり
- 5 音楽テンポと動作速度の同期性に着目した幼児への音楽呈示方法の提案……………  
早稲田大学大学院生 堀 口 理 菜
- 6 幼稚園教育の国家基準に関する日韓比較研究……………  
—「非認知能力」と「音楽的表現活動」の関わりに注目して—  
東京学芸大学大学院生 潘 智 恵

## 共同企画

### 共同企画Ⅰ ラウンドテーブル (7-103) 8日 (土) 15:30～17:00

音楽科は存在できるのか？

—変わろうとしない教育, “絶対音感”は本当に必要なのか—

企画者, 司会者:	新潟大学	森	下	修	次
話題提供者:	新潟大学	宮	崎	謙	一
指定討論者:	明治学院大学	水	戸	博	道
指定討論者:	愛知県立大学	高	橋	範	行
指定討論者:	北海道教育大学名誉教授	中	村	隆	夫

### 共同企画Ⅱ パネルディスカッション (7-104) 8日 (土) 15:30～17:00

音・モノ・身体

—それって創造性?—

話題提供者:	静岡大学	石	川	眞佐江	子
	東京藝術大学大学院生	伊	原	小百合	
	静岡大学	長	谷	川	慎
	桜美林大学	木	村	充	子
指定討論者:	東京大学	岡	田	猛	
企画・司会進行:	静岡大学	石	川	眞佐江	子
	桜美林大学	木	村	充	子
	共立女子大学	村	上	康	子

### 共同企画Ⅲ ラウンドテーブル (6-201) 8日 (土) 15:30～17:00

音楽教育におけるインクルージョンを考える

—多様化・多文化時代の学校音楽教育の可能性—

代表・企画・進行:	滋賀大学	杉	江	淑	子
共同研究者:	滋賀県立新旭養護学校	岡	ひ	ろ	み
	滋賀大学大学院生	岡	田	沙	樹
	浜松学芸高校	宮	本	賢	二郎

### 共同企画Ⅳ ラウンドテーブル (7-101) 9日 (日) 13:30～15:00

人はなぜ歌うのか, 歌を学ぶのか

—赤ちゃんの音楽性を学際的に考える—

話題提供:	愛知大学	関	義	正	貴
	京都大学霊長類研究所	香	田	啓	貴
	東京大学大学院	藤	井	進	也
企画・指定討論:	聖心女子大学	今	川	恭	子
企画:	甲南女子大学	坂	井	康	子

### 共同企画Ⅴ ラウンドテーブル (7-103) 9日 (日) 13:30～15:00

小泉文夫の音楽教育論から学ぶもの

—音楽教育の理念と実際の再検討—

報告者:	田園調布学園大学	大	田	美	郁
	東京音楽大学	加	藤	富	美子
	京都教育大学	田	中	多	佳子
	千葉大学	本	多	佐	保美
話題提供:	至誠学園立川	赤	羽	由	規子
司会・企画:	広島大学	権	藤	敦	子

**共同企画VI** パネルディスカッション (7-104) 9日(日) 13:30~15:00

音楽に関する実践知研究(1)

—方法論上の可能性と課題—

話題提供者： 京都市立芸術大学 大 澤 智 恵  
話題提供者： 宮崎大学 菅 裕  
話題提供者： 広島大学大学院生 仙 北 瑞 帆  
企画者・司会者・話題提供者： 佛教大学 高 見 仁 志  
話題提供者： 東京未来大学 森 薫

**共同企画VII** ワークショップ (7-202) 9日(日) 13:30~15:00

わらべうたのワークショップ

—歌われることで開かれる言葉の音楽世界を体験する—

実技講習と話題提供： うめのき保育園 榎 田 光 代  
白梅保育園 篠 崎 純 子  
企画者： 川村学園女子大学 尾 見 敦 子  
昭和女子大学 永 岡 都  
横浜国立大学 小 川 昌 文  
実践女子大学 長谷川 恭 子  
川村学園女子大学 蓮 見 元 子

**共同企画VIII** ラウンドテーブル (6-102) 9日(日) 13:30~15:00

〈小さな芸術〉を实践する

—ことば、音楽、造形芸術の学際的探究—

弘前大学 今 田 匡 彦  
弘前大学大学院生 高 橋 憲 人  
弘前大学大学院生 弘 前 田 一 明  
弘前大学大学院生 小 林 貴 紀

**共同企画IX** ラウンドテーブル (7-101) 9日(日) 15:15~16:15

学校教育における民俗芸能への取り組みとその意義

—原発事故災害の福島の復興と民俗芸能—

進行・発表： 福島県二本松市立油井小学校 山 崎 純 子  
話題提供： 福島県飯舘村立飯樋小学校 齋 藤 浩 子

**共同企画X** ラウンドテーブル (7-103) 9日(日) 15:15~16:45

「幼小接続」の鍵としての音楽教育の役割

—「音楽の協同性」に着目して—

企画者・話題提供者： 昭和女子大学 永 岡 都  
話題提供者： 横浜国立大学 小 川 昌 文  
司会者・話題提供者： 川村学園女子大学 尾 見 敦 子  
話題提供者： 実践女子大学 長谷川 恭 子  
話題提供者： 川村学園女子大学 蓮 見 元 子

**共同企画XI** ラウンドテーブル (7-104) 9日(日) 15:15~16:15

バリ島の竹製楽器ジェゴッグ合奏の有効性

—NPO 法人自然生(じねんじょ)クラブでのワークショップから—

企画・司会・発表: 宮城教育大学名誉教授 降 矢 美彌子

発表: 東京学芸大学非常勤講師・日本インドネシア  
・バリ教育文化協会 飯 田 茂 樹

**共同企画XII** ワークショップ・デモンストレーション (7-202) 9日(日) 15:15~16:45

ヴィヴァルディ「四季～春」を題材にした参加型ワークショップ

—学際的なコラボレーションの試行—

企画者: 就実大学 安久津 太 一  
美術教育: 埼玉大学 池 内 慈 朗  
身体表現: 就実大学 桑 原 和 美  
声楽・音楽教育: 岡山大学大学院 壽 谷 静 香  
フルート演奏: 埼玉大学 竹 澤 栄 祐  
伝統音楽: 國學院大学 筒 石 賢 昭 山  
器楽教育: お茶の水女子大附属中学校 中 山 由 美  
国語教育: 元岐阜大学・大正大学教授 安 居 總 子

**共同企画XIII** パネルディスカッション (6-102) 9日(日) 15:15~16:45

音楽をつくるための手がかりを求めて

—Inside or Outside? (4) —

話題提供: 作曲家 近 藤 謙  
話題提供と演奏: 相模女子大学 大 竹 紀 子  
話題提供: 神戸市立水木小学校 松 下 行 馬  
司会: 弘前大学 今 田 匡 彦  
企画: 日本女子大学 坪 能 由 紀 子  
明治学院大学 水 戸 博 道

**共同企画XIV** ラウンドテーブル (6-201) 9日(日) 15:15~16:45

掛け合い歌の教育学Ⅲ

—未来に文化をつなぐ—

研究代表・進行: 新潟大学 伊 野 義 博  
発表: 東京音楽大学 加 藤 富美子  
広島大学 権 藤 敦 子  
国立音楽大学 山 本 幸 正  
東京福祉大学 黒 田 清 子  
新潟大学院生 娜 布 其